MKBT
IRAI OUKA ASEBALL EAM
進化無限
発行:美来工科高等学校 硬式野球部
2026(令和8年)11月10日 火曜日
Where there is a will,there is a MIRAI.

【1年生中央大会】→打線爆発!14安打8点←★★★★1面

美来工科、初のBEST4!

諸見里3打点爆発!

第51回沖縄県高等学校野球1年生中央大会2回戦で、美来工科が糸満高校を8対2で下し、美来工科初となる一年生中央大会ベスト4進出を決めた。

14安打8得点の打線が爆発し、長濱進太朗、宮里和真、親泊慎之助の継投も冴えわたり快勝。チームの歴史に新たな1ページを刻む勝利となった。

初戦の延長十一回タイブレークを制した勢いそのままに、2回戦では投打がかみ合い快勝。初となる一年生中央大会ベスト4進出を果たした美来工科ナイン。新たな歴史を切り開いた一年生たちの挑戦は、いよいよ準決勝の舞台へと続く。エナジックとの大一番で、さらなる快進撃を狙う。



二死満塁、中越えの走者一掃三塁打を放ち、雄たけびを上げ、喜びを爆発させる諸見里安矢翔(DH・機)

ヒーローコメント

「とにかく追加点が欲しい場面だったので、何とかランナーをかえそうと思って打席に入りました。自分のスイングを信じて思い切りバットを振ることができたので、結果につながってよかったです」と振り返った。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R
美来工	0	0	0	0	5	0	0	3	0		8
糸　満	0	0	0	0	0	2	0	0	x		2

■均衡破った五回の猛攻

試合は四回まで両投手が譲らない投手戦。再三走者を得点圏に進めながらあと一本が出なかった美来工科だったが、五回に眠っていた打線が一気に目を覚ます。

一死から冨里和哉(①右)が四球で出塁すると、上江洲英大(②中)がバントヒットでチャンスを拡大。続く浦崎政義(③一)が中前適時打を放ち待望の先制点を奪った。

さらに川満零生(④三)の右前打で満塁とすると、徳門正之介(⑤遊)が押し出し四球を選び追加点。

二死満塁からは諸見里安矢翔(⑥DH)が走者一掃の中越え三塁打を放ち、この回一挙5点を奪って試合の主導権を握った!

11/9(月) 第51回県高校野球一年生中央大会VS糸満高

■浦崎が再び勝負強さ発揮

3点差に迫られた直後の八回、美来工科打線が再び爆発する。

呉屋栄汰(⑧二)の安打、新里康太(⑨捕)の死球、冨里和哉(①右)の四球で二死満塁とすると、ここで浦崎政義(③一)が左翼線へ走者一掃の2点適時二塁打。さらに川満零生(④三)も左前適時打で続き、貴重な3点を追加した。

浦崎は2安打3打点、諸見里も2安打3打点の活躍。川満が2安打1打点、徳門正之介(⑥遊)が2安打1打点を記録するなど、打線がつながりを見せた。


浦崎 政義


新里 康太


川満 零生


冨里 和哉　真栄城 寿輝


呉屋 栄汰

■長濱の粘投、宮里課題残す

先発・長濱進太朗は力強い直球を軸に5回1/3を投げ、5安打1失点の好投。走者を背負いながらも要所を締め、糸満打線に流れを渡さなかった。

六回には一死一、三塁のピンチ。ここで宮里和真がマウンドへ上がる。自身の失策も絡んで1点を許した。打者三人にフルカウントで苦しむも、最後の打者を三振に仕留めて満塁の大ピンチを脱出。反撃ムードを断ち切った。


長濱 進太朗

■親泊が締め、堂々ベスト4

七回途中から立ち直った宮里は2回を無失点。最後は親泊慎之助が九回を1安打無失点に抑え、8対2で試合終了。美来工科は初となる一年生中央大会ベスト4進出を果たした。


親泊　慎之助


宮里 和真

測量ガネゴン

作：ちなやつし









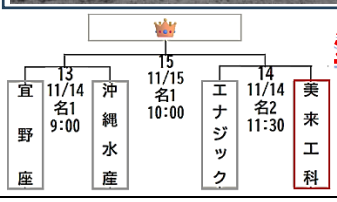












準決勝 VS エナジック

11/14(土)11:30

Enagicスタジアム名護

